

顔の見える活動今後も

NUMO 広聴・広報の変遷報告

西塔雅彦・原子力発電環境整備機構(NUMO) 副理事長は五日の原子力委員会、同機構の広聴・広報活動を報告した。

時代の移り変わりとともに NUMO の活動も変遷してきた。二〇一〇年度から四年度は「地層処分事業の認知向上」をめぐりテレビCMや新聞広告等による広聴・広報活動を全国で開催したほか、全国の地方新聞社論説委員や若手経営者、消費者生活アドバイザーの方々との座談会や、百名規模での公開討論会(フォーラム)を地方新聞社と共催で開催し、その概要を採録記事で掲載したが、十分な成果が得られなかった。そこで二〇一〇五年度～〇七年度は「アイキャッチの重視」を念頭に、テレビCMや新聞広告等に、著名人と統一キャラクター「モジュール」を起用するとともに「知ってほしい今、地層処分」というキャッチコピーを使用したほか、フォーラムや座談会を継続して開催した。メディア広告の効果と高知東洋町の誘致問題報道もあり、高レベル放射性廃棄物や地層処分事業等の認知度が向上し、二〇〇七年十一月には「最終処分事業を推進するための取り組みの強化策」を策定して活動を再度見直したが、十分な成果が得

二〇〇八年度から一〇年度は「国民全般への広報の拡充」「必要性・安全性の訴求」をめざし、ワークショップや座談会・フォーラム開催などの草の根活動の拡充、テレビCMや新聞・雑誌広告などのメディアを活用した広報活動の展開を行った。特に二〇〇九年、一〇年においては面白い芸人が説明する「エネルギー・トーク」や参加型イベント「来て！見て！答えて！なるほどエネルギー」などのさまざまな取り組みを集中的・効果的に展開するキャンペーンを行った。その結果、

「認知度」「必要度」「安全度」といった主要指標は着実に向上したものの、「安全度」「地層処分施設の地元建設の賛意」はレベルとして低い水準にとどまった。

二〇一一年も幅広い活動の積極的な展開をめざしたが、福島事故を受け、主な活動はすべて自粛した。行政刷新会議が「広報活動を全面的に見直すべき」と提言したこともあり、外部の有識者からなる「広聴・広報アドバイザー委員会(委員長は鳥井弘之・日本経済新聞社社長兼元論説委員長)を設置し、「広聴・広報活動のあるべき姿」について二〇一一年十二月から二二年二月まで計四回の検討が行われて、三月に報告書を受領した。

同報告書では、①「真摯」「顔の見える」、②「誠実」、「市民の声を傾ける」という姿勢を感じ取ってもらえる広聴・広報活動②の首長・議員・農

漁商工業関係者など地域のリーダーへの情報提供を行い、応募地域への「感謝の気持ち」を示す大切さを理解してもらえよう。地層処分と全国広報③常にNUMO全体としての積極的な情報発信とともに原子力以外の分野の専門家や、地域で信頼されている知識人からの、根拠ある冷静で一定の距離を置いた情報発信するなどの安全性への理解活動④フィンランドやスウェーデンの地域振興を担った現地の人から直接体験談を聞くなど、地域振興に関する情報発信——を提言している。

これを受け、二〇一二年度は、参加対象を教育関係者・学生に拡大して公募し、希望者にフアンリレーションのスキルを学ぶ機会を提供するなどワークショップの実施方法を見直し開催したほか、千葉大学で「高レベル放射性廃棄物の処分問題」をテーマにディベイト授業を実施するなど若者を対象とした理解活動を行ったり、NUMOのPRツールや活動に対するアンケート、意見交換を行うNUMOモニター制度を創設したりするなどの取り組みを行った。

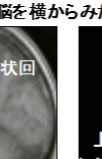
二〇一三年度においては、①ワークショップの開催回数を倍増、対象層を拡大②ディベイトによる理解活動の全国への展開③モニター制度の継続といった意図的な諸活動への反映④今後の政策の動向等も踏まえた自治体等への説明——を広聴・広報活動の重点案としている。

かむ影響をfMRIで画像化

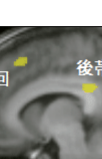
放射線医学総合研究所重粒子医科学センター融合治療診断研究プログラムの平野好幸客員協同研究員らと、神奈川歯科大学の小野塚実教授

このほど、かむ動作を行うことで注意に関する脳内ネットワークを活性化し、認知課題の応答速度の改善を引き起こすことを、fMRI(MRI)を用いて、fMRIで脳活動の変化を計測した。その結果、かむことで注意ネットワーク賦活テストの回答時間が短縮され、脳の前帯状回と左前頭前皮質などの注意に関わる領域の活動を増強させると判明した。かむ動作が注意ネットワーク賦活テスト中に与える影響をfMRIで画像化に成功したのは世界初。

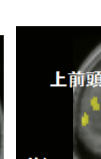
本成果によって、かむ動作が認知機能に影響を与えるしくみを解明することが期待されるとともに、頭頸部のがん治療時にかむ機能を温存できる重粒子線がん治療など非侵襲的な治療が有用であることが示された。



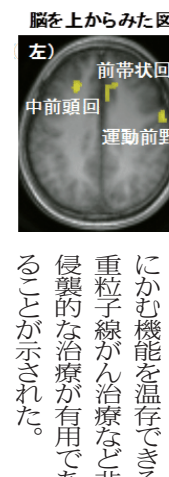
脳の中心より左寄り
かむ動作で活動が上昇した部位(黄色)と減少した部位(赤色)



前帯状回、中前頭回、運動前野



後帯状回、上前頭回、前帯状回、上前頭回、視床、小脳



前帯状回、中前頭回、運動前野

政策調査員らを募集

原子力委 国際業務、技術動向調査

- 原子力委員会は、同委員会の事務局機能を担い、原子力の研究・開発及び利用に関する調査企画・立案を行う内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)の組織で国際業務担当および技術動向調査担当の(政策企画調査官)・(政策企画調査員)・(政策調査員)を募集している。
- 募集は、①国際会議対応、海外要人対等の調整業務、国際動向のフォローアップ等を行う国際業務担当者一名、②研究開発動向及び、エネルギー利用動向のフォローアップ、原子力政策の企画・立案に関する支援業務、広聴・広報関連業務等を行う技術動向調査担当者一名、非常勤の国家公務員の形態で中央合同庁舎四号館七階内閣府に四月以降から勤務する。
- 任期は原則として、採用日から二年間。
- 詳細はホームページ(<http://www.8.ca>)・フリップン大丈夫?／持

原発ゼロでニッポン大丈夫? 小冊子刊行

エネルギーフォーラムはこのたび、イラスト入り小冊子『原発ゼロ? ニッポン大丈夫?』を持

続不可能な脱原発社会の姿を刊行した。エネルギーに乏しい日本が脱原発を進めた場合の影響をユニークなイラストで解説している。監修は秋元圭吾・地球環境産業技術研究機構首席研究員。(電話03-55565-3500)まで。

一部三百円、送料一律三百五十円。申し込みはファックス(03-35545715)で受け付け(電話03-55565-3500)まで。

英国派遣調査団 参加者を募集

原産協会は、原子力発電所の新規建設プロジェクトが進む英国の状況を調査するため、三月十八日から一週間、英国に派遣する調査団への参加を募集している。

これに先立ち十三日、スー・キノシタ英国大使館貿易・対英投資部長(II



スー・キノシタ英国大使館貿易・対英投資部長(II)

建設計画を進めている。原産協会で派遣する調査団は、協力覚書を行っている英国原子力産業協会(NIA)の主催する会議「Nuclear New Build 2013」に参加する。NIAの協力を得て、新規建設プロジェクト会社や英国の原子力関連会社と会合を持つほか、原子力施設への訪問も予定している。

参加申込締切は二十八日。問い合わせは原産協会国際部(電話03-6812-7109/メール nnb2013@jaif.or.jp)まで。

英国派遣調査団 参加者を募集

原産協会は、原子力発電所の新規建設プロジェクトが進む英国の状況を調査するため、三月十八日から一週間、英国に派遣する調査団への参加を募集している。

これに先立ち十三日、スー・キノシタ英国大使館貿易・対英投資部長(II

英国原子力発電所新規建設調査団 参加者募集

——活況を呈する英国の新設プロジェクトへの関与/参入の糸口をつかむ

- 期間：3/18(月)～22(金)(予定) 現地集合・現地解散
- プログラム：NIA主催「Nuclear New Build 2013」への参加
英国原子力関連企業・団体との会合(日英通訳付)テクニカルツアー
- 訪問先：英国(ロンドンおよび原子力施設サイトを予定)
- 募集対象：英国への原子力輸出に関心のある原産協会会員
- 共通経費：会合・通訳等の事務局経費(10万円程度)をご負担願います。
(旅費/宿泊費/NNB2013参加費は各自負担)
- お問い合わせ：原産協会・国際部 Tel: 03-6812-7109 e-mail: nnb2013@jaif.or.jp